

地域と防災士をつなぐ！地域と協働で取り組む 『地域防災力向上に向けたリーダー育成事業』（事業報告）



令和6年3月21日
福島県防災士会 会津方部

振り返り①「公共的課題」に対する団体としての認識

R5行政提案型協働事業
福島県防災士会 会津支部

町内の防災意識が低い…
防災のリーダーがいない

災害リスクは増大している

もし災害が発生しても対処
方法がわからない

地区住民

いざという時は、
自分の身は自分で守り(自助)、
そしてお互いが助け合わな
ければならない(共助)

課題

高齢化

人手不足

意識の低さ

防災リーダーを期
待される防災士の
力が地域にとって
必要では・・

地域と防災士のつながりが不可欠

合格

防災士

せっかく防災士になったけ
ど、活躍できる場が…

市内には防災士の
有資格者が
約140名いるが

市内で防災士として実際活動し
ているのは**10名に満たない**…

課題

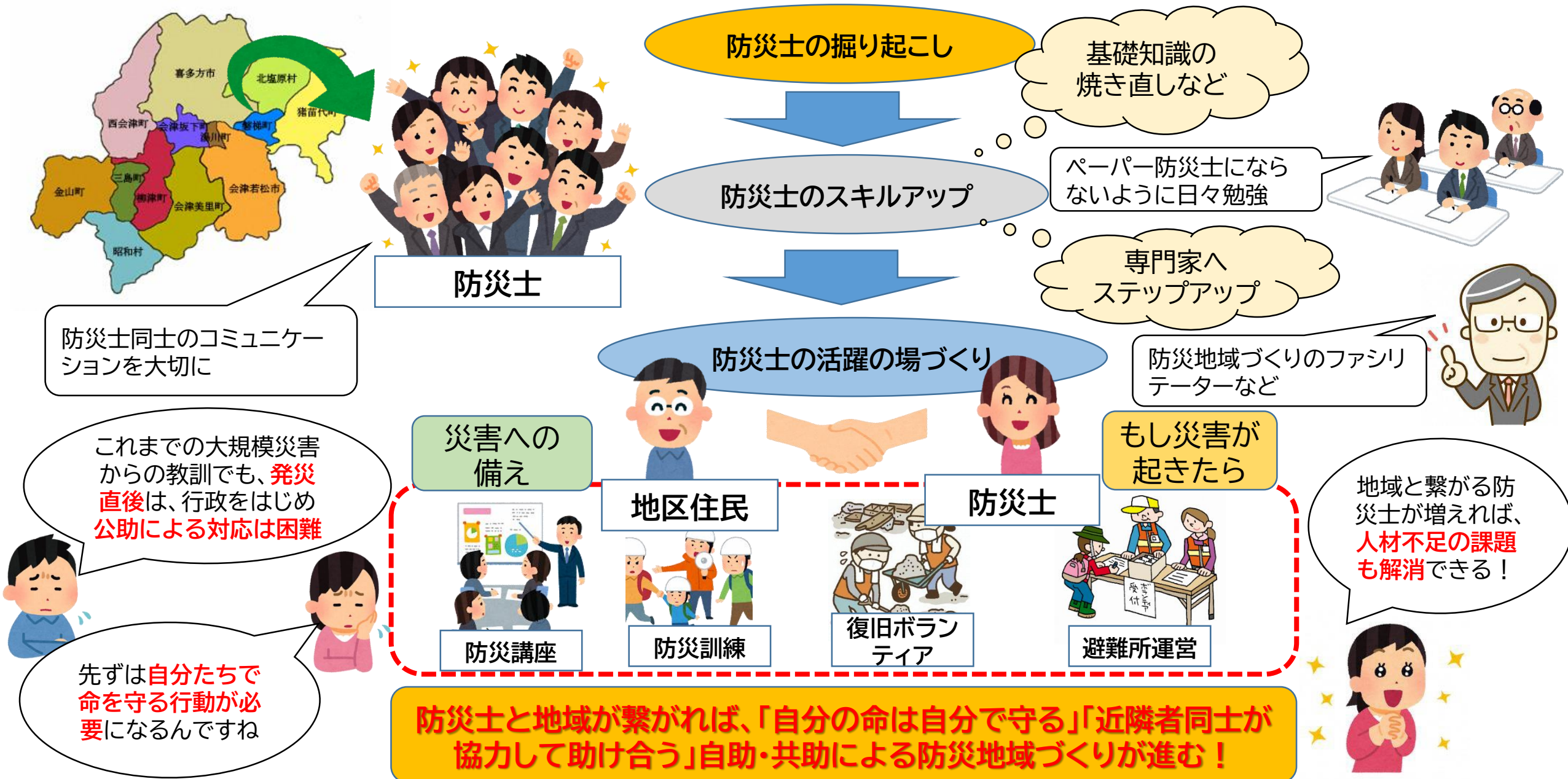
防災士の掘り起こし

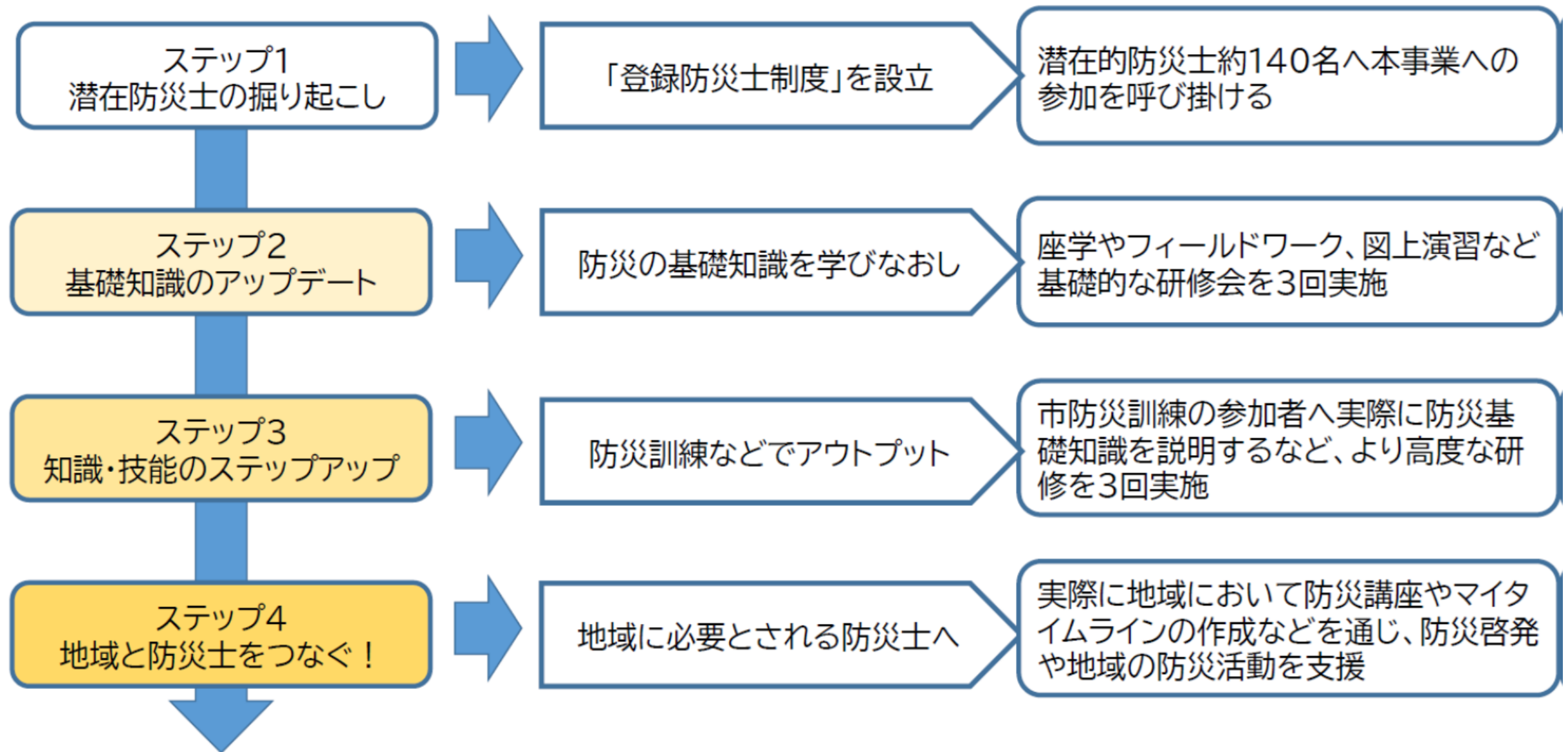
防災士のスキルアップ

防災士の活躍の場づくり

振り返り② 目標とする事業の成果・効果

R5行政提案型協働事業
福島県防災士会 会津方部





振り返り④ 「目的達成」・「課題解決」の手法(具体的な事業内容)②

R5行政提案型協働事業
福島県防災士会 会津方部

【ステップ2】基礎知識のアップデート

第1回 気象と防災に関する基礎・現地視察

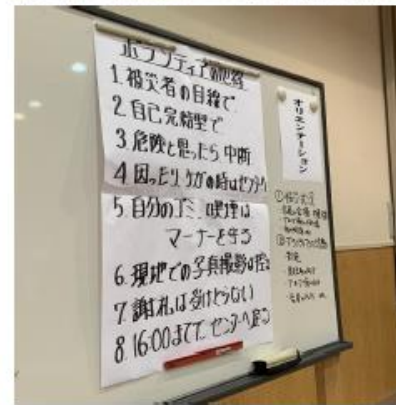
第2回 会津若松市災害図上訓練

第3回 災害時避難行動要支援者への対応

第4回 マイタイムラインと避難所運営

第5回 中山間地の被災地視察

第6回 ファシリテーション講座と災害ボラセン



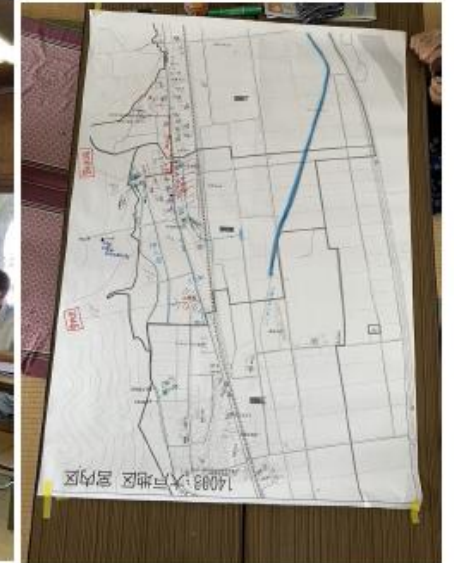
【ステップ4】 地域支援の実習

第1回 防災講座+マイタイムライン作成

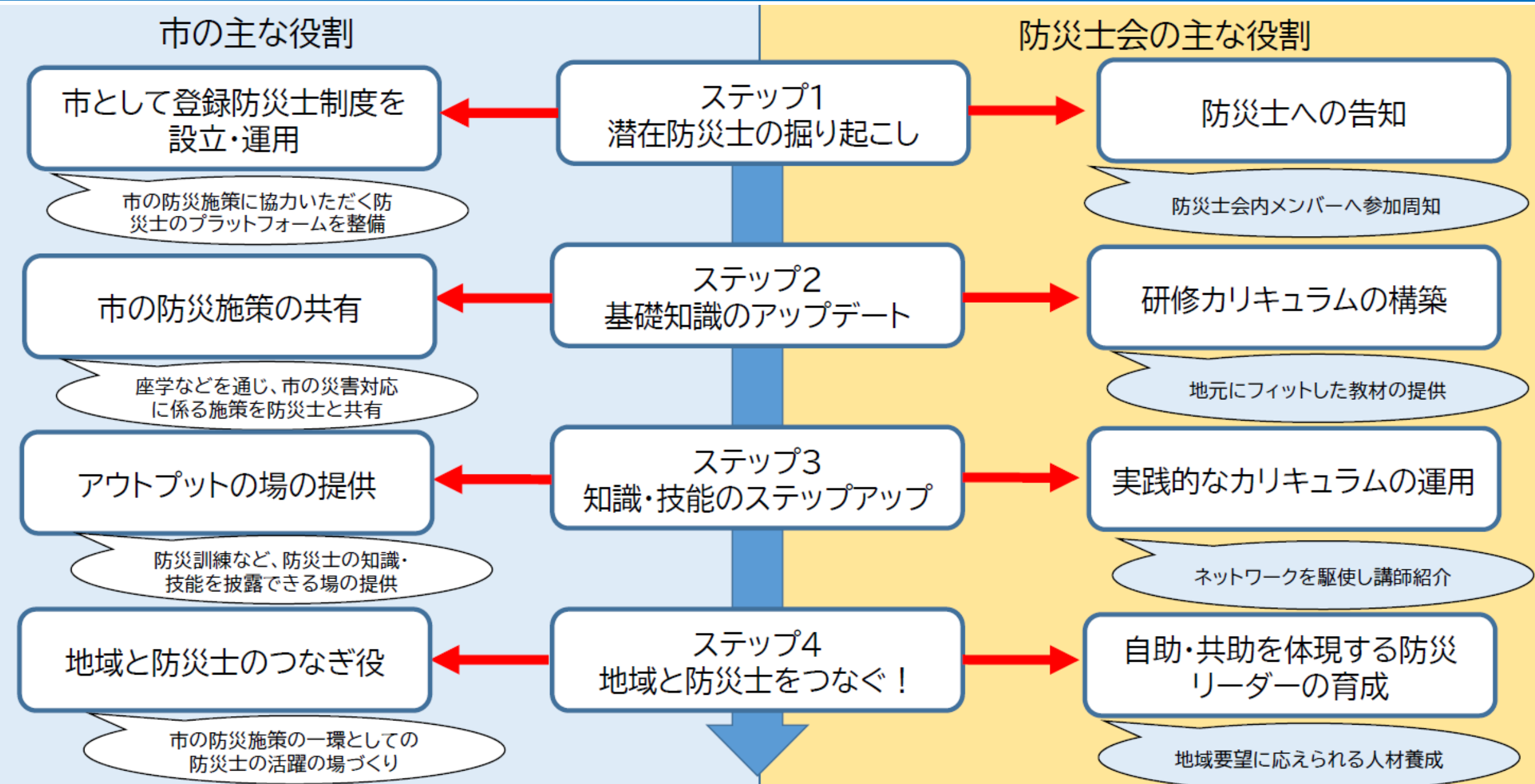
第2回 地区住民と歩き、地区リスク確認

第3回 地区住民による「逃げ地図」仕上げ作成

⇒大判完成品を集会所に張り出して完了



振り返り⑦ 事業実施にあたっての市との役割分担

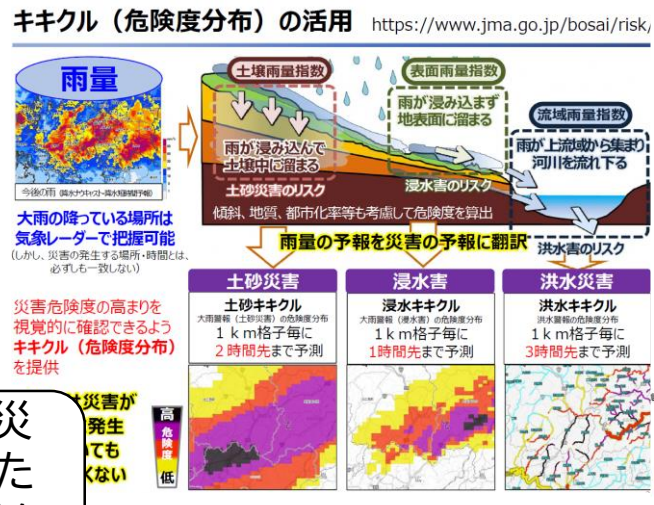


- 第1回(6/18(日)) 参加者:28名
- ・【座学】市の災害想定と防災体制について(講師:市危機管理課)
- ・【座学】気象と防災について(講師:福島地方気象台)
- ・【フィールドワーク】市内の重要水防箇所と土砂災害警戒区域について(講師:福島県会津若松建設事務所管理課)

市危機管理課の防災対策普及員より、市の災害リスクや防災体制などの基本的な施策について学びました。



都道府県知事は、市町村長の意見を聞いた上で区域を指定します。



会津若松建設事務所の担当者の方から、土砂災害警戒区域の地勢や現況を説明いただき、身近にある災害リスクを学びました。土砂災害を防ぐための砂防ダムを見学、防災にはハードとソフト両方の取り組みが大切であることを実感しました。

福島地方気象台の専門官より、災害の危険度を5段階で色分けした気象情報「キキクル」の見方などを学びました。

事業報告② 災害図上訓練(DIG)へチャレンジ！

R5行政提案型協働事業
福島県防災士会 会津支部

- 第2回(7/30(日)) 参加者:20名
- ・【演習】災害図上訓練(DIG)(講師:常葉大学准教授 小村隆史氏)



Disaster(災害)、
Imagination(想像力)
Game(ゲーム)
約して「DIG」文字通り災
害を想定してのゲーム形
式の図上訓練を行いました。

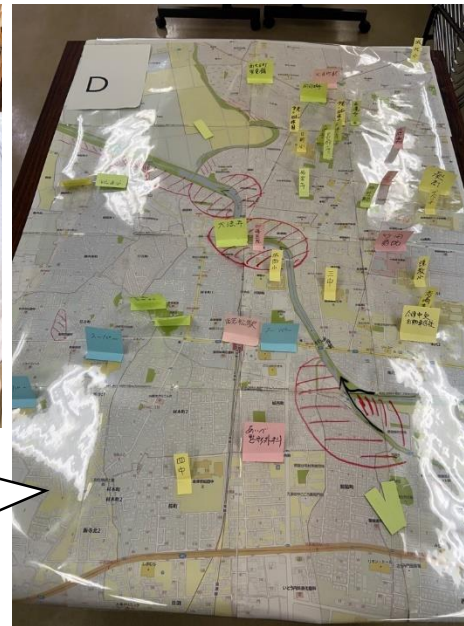


今回は水害を想定したDIG、ど
こが河川の水源となって、どの
河川同士が合流するのかなど、
まずは水害を引き起こすメカニ
ズムを知ることからスタート！

市の洪水ハザードマップ
における浸水想定区域で、
特に懸念されるエリアに
フォーカスし、危険箇所
や避難所、避難場所など
を皆さんで話し合いなが
ら地図に落とし込んでみ
ました。



地元にお住まいのみなさんならではの知識や経験をもとに、ハザードマップだけでは見えてこない災害リスクや、身の安全を確保する方法などについて話し合いました。



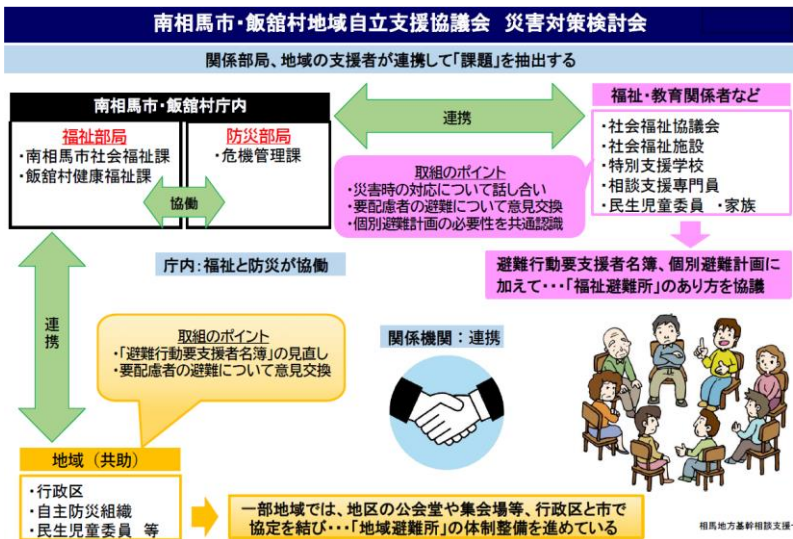
みなさんで想像をふくらませ、要配慮者対応や、指定避難場所だけではない避難可能な場所の選定など、今後の課題を抽出し、意見を交わしました。地域の実情に合わせた防災対策の必要性が見えてきました。

事業報告③ 避難行動要支援者への対応を考える

R5行政提案型協働事業
福島県防災士会 会津方部

■第3回(8/20(日)) 参加者:21名

- ・【座学】災害時における避難行動要支援者への対応(講師:相馬地方基幹相談支援センター管理者 須藤康宏氏)
- ・【講習】普通救命講習(講師:会津若松消防署救急係)



普通救命救急を改めて実施、心臓マッサージなどはやはり定期的に行っていないと本番に瀕した時は実際に行うのは難しいことがわかりました。



災害対策検討会で話していること

- ・避難行動要支援者について … その範囲をどうするか
- ・医療的ケア児者の支援について … 具体的な避難先をどうするか
- ・個別避難計画について … どのように作成及び活用するか
- ・福祉避難所の設置について … 一次避難所にならないの?
- ・一般避難所の設営について(現地確認) … 福祉ゾーンは?
- ・避難所設置・運営マニュアルについて … 本当に機能する?

災害時における共助の取組みで最も議論される避難行動要支援者対策、災害に備えるため、地域でどのような体制づくりが必要なのか、そして何を話し合っていく必要があるのか、そのヒントを得ることができました。



AEDも冷静に手順に沿って行えば難しい操作でないことがわかります。

事業報告④ マイタイムラインの作成と避難所運営シュミレーション

R5行政提案型協働事業
福島県防災士会 会津方部

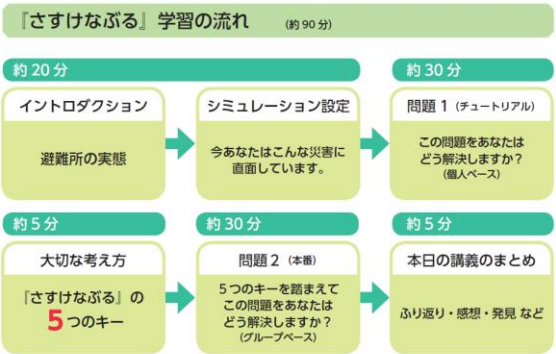
- 第4回(9/24(日)) 参加者:19名
- ・【座学】マイ・タイムラインの作成、家庭内備蓄と非常持出品について(講師:福島県防災士会会津方部)
- ・【演習】避難所運営シュミレーション「さすけなぶる」(講師:さすけなぶる研究会 天野和彦氏)



台風等による災害を想定し、その時の状況や時間によって自分自身の避難行動などをあらかじめ決めておく「マイタイムライン」の作成方法を学びました。



東日本大震災・ふくしまの教訓を生かした避難所シュミレーション



マイ・タイムライン 避難行動のめやす

【会津若松市 町 地区版】

台風の規模・進路を調べる
上流の雨量をネットで調べる
川の水位をネットで調べる
家族全員の予定を確認
病院から薬を1週間分多く処方
避難所開設の確認
避難先の親戚・友人へ連絡
避難先のルート再確認
各自携帯・スマホの充電
各自で避難時の持ち物点検
動きやすい服に着替える
雨合羽とスニーカーを準備
避難前に近所へ声掛け
ガス元栓確認・ブレーカー落とす
全員避難開始

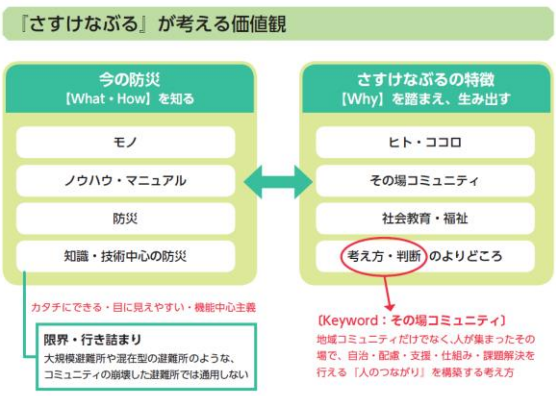
家まわりの点検・補修・補強
敷地まわりの側溝のそうじ
庭やベランダの道具類等をしまう
懐中電灯などの電池・作動確認
食糧・必要品買い出し
車のガソリンを給油
土のう集積所へもらいに行く
水の来そうな所へ土のうを積む
貴重品などを箱へ移動
雨戸を開めるか窓ガラス補強
前兆現象を危機管理課に通報
前兆現象目撃・早期の避難
自宅上階で安全確保

台風の規模・進路を調べる
上流の雨量をネットで調べる
川の水位をネットで調べる
家族全員の予定を確認
病院から薬を1週間分多く処方
避難所開設の確認
避難先の親戚・友人へ連絡
避難先のルート再確認
各自携帯・スマホの充電
各自で避難時の持ち物点検
動きやすい服に着替える
雨合羽とスニーカーを準備
避難前に近所へ声掛け
ガス元栓確認・ブレーカー落とす
全員避難開始

台風の規模・進路を調べる
上流の雨量をネットで調べる
川の水位をネットで調べる
家族全員の予定を確認
病院から薬を1週間分多く処方
避難所開設の確認
避難先の親戚・友人へ連絡
避難先のルート再確認
各自携帯・スマホの充電
各自で避難時の持ち物点検
動きやすい服に着替える
雨合羽とスニーカーを準備
避難前に近所へ声掛け
ガス元栓確認・ブレーカー落とす
全員避難開始

高齢者や障がいをお持ちの方でも、あらかじめわかりやすい文言で、とるべき行動、自分でできる備えを考えておけば安心ですね

東日本大震災における避難所で起きた様々な事例をもとに、想定外の事態にも対応できる柔軟な視点を身につけるための避難所運営ワークショップ型シュミレーションゲーム「さすけなぶる」にチャレンジしました。



■第5回(10/22(日)) 参加者:17名
・【視察】中越地震被災地域や関連施設の見学

会津若松市ご一行 様 ご見学プラン
ご予約日: 令和5年10月22日(日)
参加人数: 会津若松市関係者 30名(予定) 予定車両: 大型バス1台
【行程案】 やまこし復興交流館おらたる → おぢや震災ミュージアムそなえ館

時間	場所	バス1台にて移動
7:30頃	出発	会津若松市内→長岡方面 (磐越道→北陸道、中之島見附ICからバス45分)
9:50	山古志到着	やまこし復興交流館おらたる着 トイレ休憩
10:00	施設見学 (40分)	おらたる施設見学 ・地形模型シアター ・展示室見学 ・自由見学(お買い物)
10:45		(住民ガイドバス乗車)
10:45	地域見学 (60分)	山古志村内見学(住民ガイドによる被災地案内) ・木庵集落(水没家屋) ・楢ノ木集落(車窓見学) ・アルパカ牧場(油夫集落)
11:45	昼食	おらたるホールにて昼食(山古志弁当)*要調整
12:30	出発	山古志→小千谷市内へ
13:15	小千谷到着 (90分)	おぢや震災ミュージアムそなえ館・施設見学 ・MX4Dシアター ・小千谷市の被災の様子 ・日ごろからできるそなえ、準備について(ナビゲーター説明) 【防災学習体験コース(有料プログラム)適用予定】
14:45	休憩・出発	関越道・小千谷ICから帰路(そなえ館より10分)
17:00	到着	解散

中越地震の教訓を今に伝える施設を見学、職員の方々の丁寧な説明もあり、活断層による直下型地震の恐ろしさを改めて知ることができました。

中越地震で集落を流れていた河川が地滑りにより堰き止められダムになり、家が水没するなど、地震がもたらす災害の恐ろしさを実感してきました。



会津若松市で想定される西縁、東縁断層帯の地震への対応のヒントを探ってきました。

事業報告⑥ 地域に入る準備～ファシリテーション講座他～

R5行政提案型協働事業
福島県防災士会 会津方部

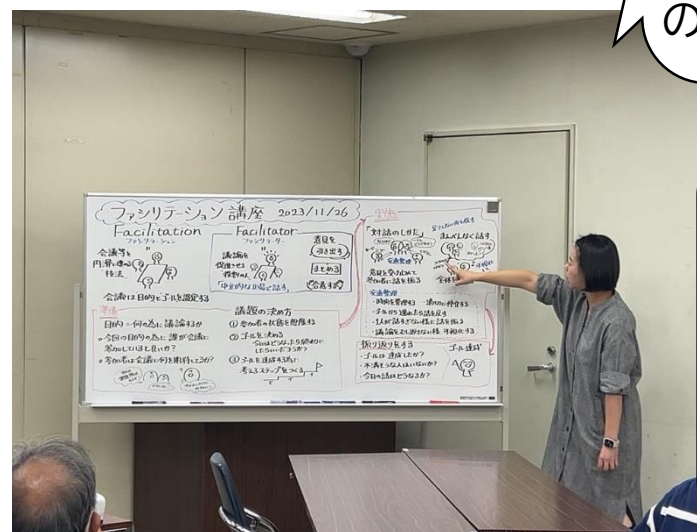
■第6回(11/26(日)) 参加者:14名

- ・【座学】ファシリテーション講座(講師:一般社団法人シビックテック・ラボ 市川博之氏、市川希美氏)
- ・【座学】災害ボランティアと災害ボランティアセンター運営(講師:福島県防災士会会津方部)
- ・【座学】自主防災組織(講師:市危機管理課)



会議を円滑に進める、話し合いをまとめるための「ファシリテーション」について、グループワークも交えながら、そのポイント・コツを学びました。

会議の流れ、出された意見、結論・結果を、図やイラストも用いてわかりやすく見える化する、「グラフィックレコーディング」の技術も学びました。



災害ボランティアセンターの運営に関わることを想定し、災害ボランティアセンターマッチングシミュレーションゲームで、災害時にどのようなことが起こるのか、様々な被災者のニーズにどう対応するかを体験しました。



事業報告⑦ 地域に入る！まち歩きと防災マップづくり1

R5行政提案型協働事業
福島県防災士会 会津方部

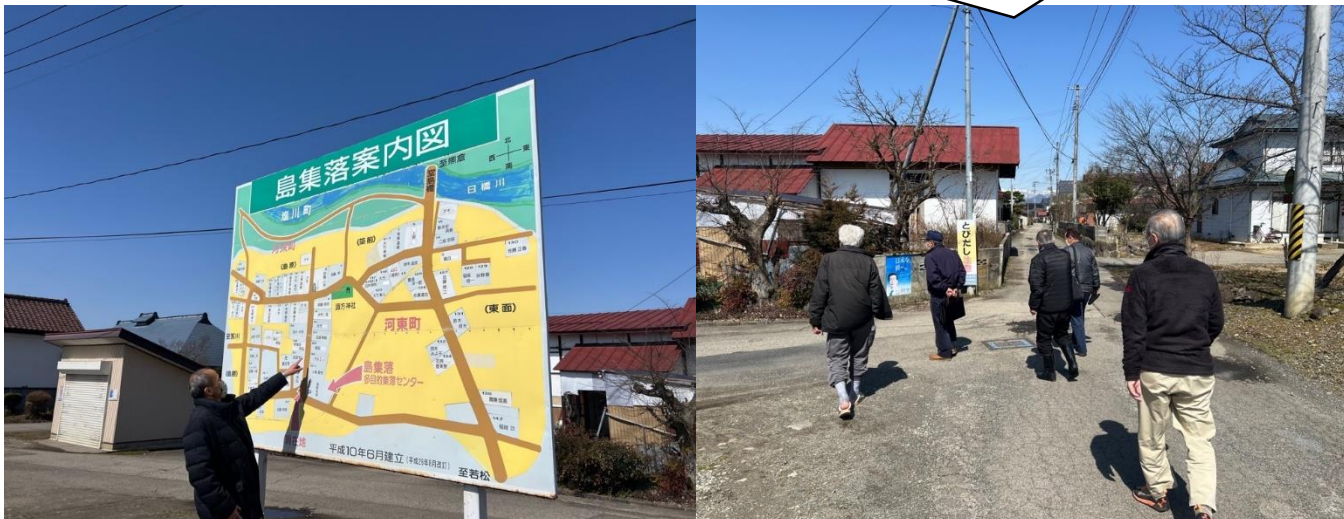
■第7回(2/4(日)) 参加者:13名 地区住民:15名

・【フィールドワーク】モデル地区(河東町島町内会)でのまち歩き・防災マップ作り

2グループに分かれて地区内をまち歩き。老朽建物やブロック塀、川や水路など災害が起こりそうな危険箇所はどこか、集会所や広場、消防屯所や消火栓など災害時に役立ちそうな場所はどこかといった視点でまち歩きを行った。地区住民から、あらためてまち歩きをして地区の状況がわかったとの声。(通れると思っていた所が今は通れなくなっていたという発見も!?)



実際に地区内を歩いて確認した、川や水路、空き家などの危険箇所や、集会所や消防屯所などの災害時に役立ちそうな場所を、グループごとに確認し合い、意見交換をしながら、地図に落とし込んでいきました。地区住民にとっては、住み慣れた町内を、防災の視点から再確認することができた場に、受講者にとっては、地域での防災の取り組みの一つの事例を実体験できた場になりました。



事業報告⑧ 地域に入る！まち歩きと防災マップづくり2

R5行政提案型協働事業
福島県防災士会 会津方部

■第8回(3/16(土)) 参加者:5名 地区住民10名

・【座学・演習】モデル地区(河東町島町内会)のまち歩き防災マップの確認とマイタイムライン作成



実際に町内を歩いて確認した、大雨の際に気を付けるべき水路や水の浸水しやすい低地などを地図に落とし込み、皆さんで危険箇所等を確認・共有しました。



参加者の皆さんも、地区の皆さんとともに作業に加わり、町内の地勢や避難ルート等について意見を交わしました。

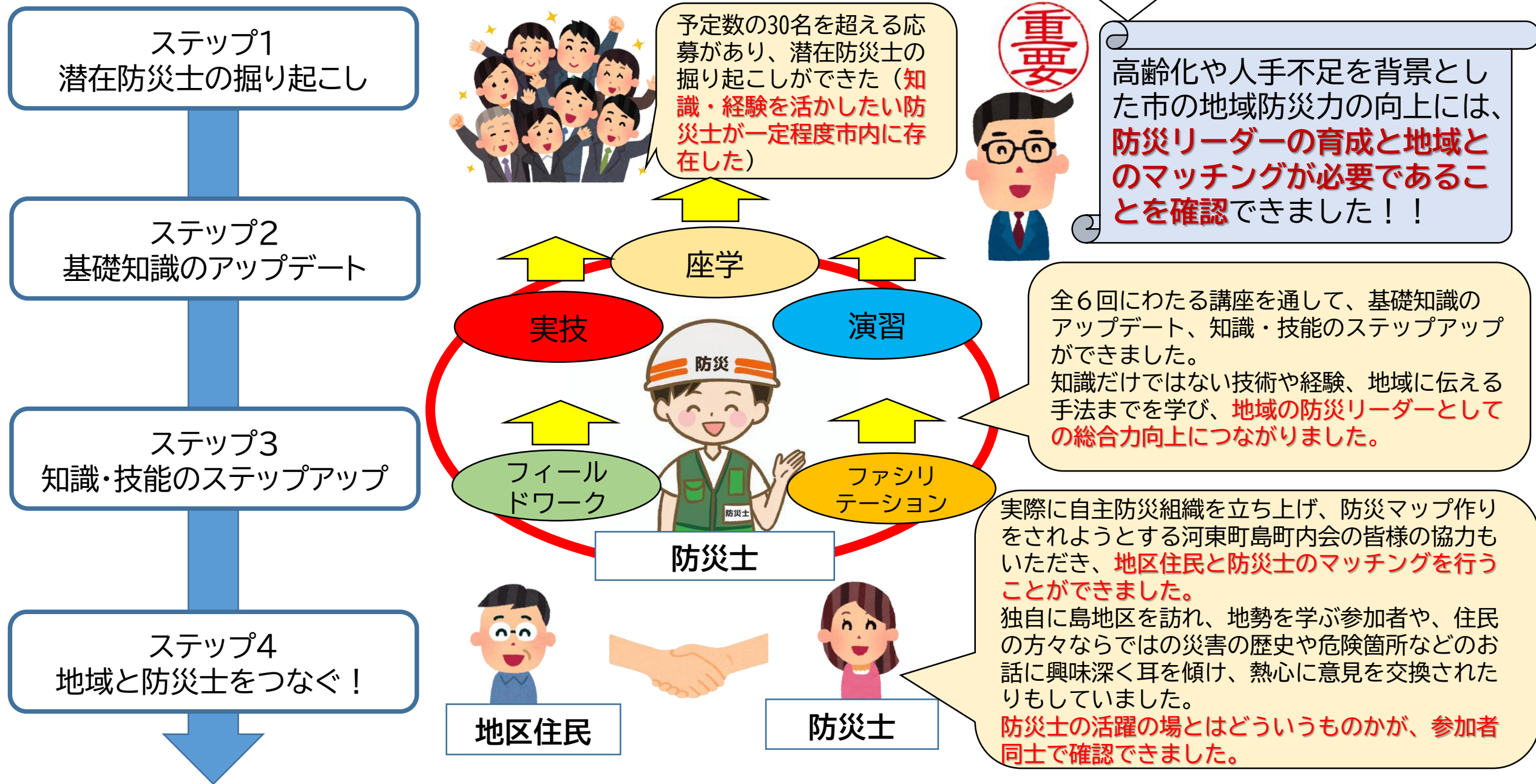
防災士会の鈴木里美さんからの振り返り講座、今回初めて参加した地域の方もいましたので、何度も話し、確認しあうことで地区の皆さんの理解を高めていきます！



第4回の講座で学んだマイタイムラインを町内の方々とともに作成し、参加者の皆さんの中にはアドバイスされている方も！



R5行政提案型協働事業
福島県防災士会 会津方部



○対象者:講座への参加者28名

○回答率:46%(13名回答)

【問1】

今年度の「地域防災リーダー研修」を受講してみて、今後、町内会などの地域における防災の取組(防災講座、自主防災組織づくりなど)に積極的に取り組んでいきたいと思いませんか？

1. 取り組んでいきたいと思う 10名

2. 取り組んでいきたいと思わない 0名

3. どちらともいえない 3名



講座を通して、それぞれの方が目指す地域の防災リーダー像が見えてきたのではないのでしょうか



参加者ご自身の普段の生活や、防災リーダーに期待されることなどから、意識の変化もあるようです。

〔自由意見〕 ※抜粋

- ・防災講座で地域住民に気候変動や市内にも危険な活断層があること等を知らせ、**核になる仲間を組織し、その後に自主防災組織に取り組む**
- ・町内会や地域で防災士がどれだけ認知されているかが分からない。又、万が一の時に、**一個人が指示してもどれだけ話を聞いて行動するか分からない**。地域には何人の防災士がいてどの様に活動するかの機会を市の方から提示・示唆(情報等)があれば組織化出来るのかと思う
- ・仕事柄転勤が多く、町内会の関わり方が非常に難しい。関わりたいのは山々だが、**地域コミュニティの希薄化での難しさを感じている**。

【問2】※複数回答可

特に関心のある取組、やってみたいと思う取組は何ですか？

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 1. 防災講座 | 4名 |
| 2. 自主防災組織づくり | 9名 |
| 3. 防災マップづくり | 4名 |
| 4. その他 | 1名(防災アプリへの参画、避難所開設または運営訓練) |

【問3】 ※どちらでも良いは両方に追加

防災講座など地域における防災の取組に参加した際に、報酬をお支払いすることについてどのように思いますか？

- | | |
|---------------|----|
| 1. 報酬があった方が良い | 5名 |
| 2. 報酬がなくても良い | 7名 |

〔自由意見〕 ※抜粋

- ・私個人としては金銭があった方がとりあえずやる気が出ます。善意だけでは初めの数年は意欲的だとしても、地域の方との対話の中で疲労感も現れ、意欲が低下すると思います。
- ・防災活動は地道な活動ですが、心身の負担を伴う活動です。報酬という考えよりも費用弁償に相当する考えであった方が良いと思います。
- ・自分自身(地域を含めて)の事なので「なくても良い」。ただ他地区の講座等とする場合は必要かな。
- ・モチベーションや責任感が変わると考える(報酬があれば)

【問4】

今年度の「地域防災リーダー研修」を受講してみて、参考になった講座やこんな講座があったら良かったというものがあれば教えてください。

1. 参考になった講座

- ・会津若松市に顕在する過去災害の発生場所がこんなにあったことを知らされた講座
- ・専門防災士さんの講座が参考になった
- ・様々な講座の中で、度々情報を取得できるサイトが紹介された時は、私も含め、多くの人が関心をよせていたように思います。例：ハザードマップ、今昔マップ、jSTAT MAP
- ・避難所運営シュミレーション「さすけなぶる」、ファシリテーション講座
- ・山古志研修、さすけなぶる
- ・避難所運営、ファシリテーション講座
- ・第1研修「座学・フィールドワーク」、第5研修「中越地震被災地域や関連施設の見学！」、第6回研修「③自主防災組織 担当危機管理課」
- ・災害時における避難行動要支援者への対応
- ・防災マップ作りでは、地域の人話を聞いて参考になった

【問4】

今年度の「地域防災リーダー研修」を受講してみて、参考になった講座やこんな講座があったら良かったというものがあれば教えてください。

2. こんな講座があったら良かった

- ・地震による火事対策、一般の火事と異なり消火栓の断水や防火水槽が利活用できない大きな災害を想定した災害(海の無い県だが今までになかった規模の災害の想定した講座)
- ・災害、防災を実践した生の声、経験談をお願いしたい
- ・情報収集に関する講座
- ・災害時を想定した模擬設営のDVDとかで問題点やポイントを解説するような講座を求めます。
- ・地区の避難訓練への参加
- ・3.11体験談(県警、消防、自衛隊等実働部隊職員より)
- ・「防災ボランティアの役割とその活動について」10分で防災、地震、津波(日赤で実施中?)
- ・今年の能登半島地震でも高齢者(認知症や病気で行動が制限される人)等が避難を拒否している人をどの様に安全な一次・二次避難所等に説得するか?を考え協議する講座も良いのかと思う。

【問5】

市では今後、地域における防災の取組を実施する際にご協力いただける防災士等の方々を募り、「会津若松市地域防災リーダー」として登録し、ご協力をお願いしたい活動があった際にお声がけする取組を検討していますが、「会津若松市地域防災リーダー」として登録することに関心はありますか？

- | | |
|--------------------------|-----|
| 1. 関心があり登録したいと思う | 11名 |
| 2. 関心はあるが登録するかどうかまだわからない | 2名 |
| 3. 特に関心はなく登録するつもりはない | 0名 |



参加者のおよそ半数（未回答者も含み）が次のステップへ関心があるようです。



防災リーダーもそれぞれの思いの中で、それぞれの立場でできることをするという考えも大事ですね

〔自由意見〕 ※抜粋

- ・もし登録させていただけると、登録証のようなものがあると嬉しいです。
例：農政課「サポートクラブ」
また、市で実施の「つなポン」がもらえたり「消防団サポート事業」のような恩恵等が受けられるとさらに嬉しいです。ご検討お願いします。
- ・市としてどのように考え、何をどの様に形にしたいのかが現状明確になっていない様に見える。
- ・現在、各種団体の役員を務めている為、登録する時間的余裕がない、防犯指導隊・防犯協会の活動と合せて防災活動するのであれば、リーダー登録までしなくても考えている。

防災士が思う地域
との繋がりレベル感は…



レベル1. 防災ファシリテーター

- 活動範囲：地域内外を問わず
- 活動内容：平常時においては防災啓発活動を行う専門家
災害時においては避難所やボランティアセンター等の運営を取り仕切るリーダー等
- その他：市防災計画や各種マニュアル改定におけるアドバイザー



レベル2. 地域の防災リーダー

- 活動範囲：主に地域内（地区会、町内会）
- 活動内容：平常時においては防災啓発活動を行うリーダー等
災害時においては避難所やボランティアセンター等における運営ルールの企画・立案、とりまとめ等
- その他：市防災計画や各種マニュアル改定におけるアドバイザー



レベル3. 地域の防災アドバイザー

- 活動範囲：地域内（居住町内会、地域づくり団体等）
- 活動内容：平常時においては地域内で防災啓発活動の推進役
災害時においては主に要配慮者に対する避難誘導等を行う支援者
- その他：防災に関する各種計画・マニュアルにおける支援者

いろんな立場の
防災リーダーが
いてこそ、きっ
と防災地域づく
りは進むんです
よね！





能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に心よりご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

災害の教訓を無駄にしないためにも、引き続き地域防災力の向上に全力で取り組み続けていきたいと思ひます。

福島県防災士会会津方部 & 会津若松市危機管理課

To be continued

